

「第54回大方の秋まつり」と「第4回黒潮町まるごと産業祭」を合同開催

11月13日、土佐西南大規模公園体育館周辺で、「第54回大方の秋まつり」と「第4回黒潮町まるごと産業祭」が合同開催されました。

今年も体育館内で町内学校からの作品や一般の方の作品が展示され、体育館前では町内の特産品や工芸品の出店。ステージでは子どもたちによるダンスショーや舞台芸能など、日頃の練習の成果を発表しました。

会場に隣接して「海辺の日曜日」の開催もあり、たくさんの方が来場しました。また土佐くろしお鉄道・高知西南交通バスサポーターズクラブによる、ミニ列車やボネットバス乗車体験・反射神経体験コーナーや幡多中央消防組合による放水的あてゲームや消防服着用体験・作業車乗車体験も行われ、今年も去年以上にたくさんのお客様が体験イベントが用意され大人から子どもまでが楽しめるイベント



1

ントとなりました。

※「大方の秋まつり」は毎年11月の第2日曜日にふるさと総合センター前で開催していた、文化作品の展示や舞台芸能を発表する催しです。「黒潮町まるごと産業祭」は2013年12月に初めて開催されたもので、黒潮町の農業・漁業・商工業・林業・観光業などを地域の皆さんに広く知ってもらい、楽しんでいただく催しです。



2

1 幡多周辺のたぐさんのお店が集まりました。

2 サポーターズクラブのミニ列車も大好評でした。

3 体育館内の展示の様子。

4 メインステージで芝子躍りの披露。ゆるキャラも大勢、来てくれました。

第22回「潮風のキルト展」

黒潮町の秋を彩る、砂浜美術館の「潮風のキルト展」が、11月11日から13日まで入野松原で開催されました。今回のテーマ「布を樂しむ」に合わせ、県内外から応募されたキルト作品は大小合わせ50点。創作の楽しさ溢れる彩豊かな作品が小春日和の松原で潮風にそよぐ風景を、多くの人が楽しみました。

今年の審査員は、兵庫県出身の2人組ユニットpatch-workの村上史博さん(写真右)と丸井康司さん(写真左)。2年前のキルト展にワークショップ講師として参加したことが縁で、今回はクッションなどのデザインキルトを松原に展示する企画展がありました。

そのほかに、布切れを使ったはがき作りのワークショップや、手作りの小物や飲食を販売するお店屋さんもあり、子どもから大人まで楽しめるイベントでした。



今年の潮風大賞は大方高校の開放講座「砂浜美術館」の男女4人の合同作品。「夕日とクジラ」

「税に関する作品」 「税についての作文」表彰式

幡多租税教育推進協議会が幡多地区の小学校3・4・5年生を対象に「税に関する作品(習字)」の募集を行い、11月14日に優秀作品の表彰式が行われました。

黒潮町教育長賞に入野小学校3年生・橋本悠さん、中村税務署長賞に上川口小学校4年生・大西宙舞さんが入賞しヨンデンプラザ中村ギャラリーで表彰式が行われました。

また、全国納税貯蓄組合連合会および国税庁が全国の中学生を対象に「税についての作文」を募集し、幡多地域での入選者の発表がありました。

黒潮町からは佐賀中学校3年生・山本菜桜さんの作文が黒潮町租税教育研究会長賞に、大方中学校1年生・相牟田真珠さんの作文が中村税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞に入選しました。

